

第51回 いわき市民美術展覧会

書 の 部

令和4年1月21日～1月30日

午前 9:30～午後 5:00

いわき市立美術館

- 主 催** いわき市民美術展覧会運営委員会・いわき市教育委員会
いわき市文化協会・いわき市立美術館
- 後 援** (財)福島県報徳社・福島民報社・福島民友新聞社
いわき民報社・NHK福島放送局・ラジオ福島・福島テレビ
福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・FMいわき
- 協 力** いわき美術協会・いわき陶芸協会・いわき書道協会・いわきアート集団
いわき写真協会

審 査 所 感

審査員を代表して一言申し上げたいと思います。

まずは入賞された方々に敬意を表したいと思います。今年は例年より会期が2週間程早く、作品を仕上げるのに苦労されたのではと思います。しかし、その中で受賞された方々はそれぞれにレベルの高い仕事をしており、今更私が申し上げることもないと思います。

そこで今回は（自分も含め）書への取り組み方について考える所を述べてみたいと思います。

私は高校で書を教えていた関係で専門分野というものはあまりなく、漢字・仮名はもちろん篆刻・刻字など、また、深くはありませんが、教える必要上歴史や文字学なども学ぶことを余儀なくされました。今はそれが書作に役立っていると思います。

また、若い頃作品作りに迷っていると師である青山杉雨先生は、「書くばかりではだめだ、書くのと同じくらい見ることが大事なんだよ」と教えてくれました。

いろんな書を観賞することにより、自分の審美眼を養い、創作の手がかりになると思います。こうした古典などの眼習い、手習いが自分の成長に大きくかかわってくると思います。師の作品の特徴である「一作一面貌」は、このような磨き上げられた師の眼と技術の成せる技ですが、到底我々にはできそうもありません。しかし、今はパソコンなどで多くの書の資料を見ることができますので新たな作品作りに試してみてもいいのではないでしょうか。

最後に私が学生の頃の師とのエピソードを1つ。

先生の授業の始まる前に教室で友人とガムシヤラに練習（たぶん呉昌碩だったと思います）していた時、いきなり頭の上から「おい、いいかげんに書けよ」と声をかけられました。驚いて「いいかげんに書くんですか」と聞き返すと、先生は“ニヤッ”と笑って「好い加減だよ」と。

普段からこわいイメージが強かったのですが、これからは一層親近感を持つことができました。

令和4年1月19日

審査員長 草野 蘆舟

いわき市民美術展覧会書の部歴代三賞受賞者一覧表

回数	年度	市長賞	議長賞	教育長賞
5	50	雅 楽 川 一 睡	石 川 大 湊	田 辺 碩 声
6	51	田 辺 碩 声	石 川 大 湊	村 上 三 峨
7	52	菅 野 空 谷	園 部 秋 月	雅 楽 川 一 睡
8	53	清 水 桂 心	矢 内 齊	芳 賀 二 葉
9	54	春 日 八 虎	菅 野 桂 洞	雅 楽 川 一 睡
10	55	矢 内 齊	菅 野 桂 洞	滝 翠 嶺
11	56	荒 井 東 苑	滝 翠 嶺	菅 野 桂 洞
12	57	菅 野 桂 洞	矢 内 齊	芳 賀 二 葉
13	58	吉 田 汀 秀	松 崎 秋 香	神 林 東 伸
14	59	滝 翠 嶺	芳 賀 二 葉	吉 田 汀 秀
15	60	神 林 東 伸	吉 田 汀 秀	長 谷 川 素 碩
16	61	神 林 東 伸	芳 賀 二 葉	芦 川 雪 舩
17	62	松 崎 秋 香	川 嶋 石 楠	大 河 原 一 醉
18	63	渡 邊 大 雅	齋 藤 柳 史	長 谷 川 素 碩
19	平成元	芦 川 雪 舩	渡 邊 大 雅	長 谷 川 素 碩
20	2	松 崎 秋 香	齋 藤 王 寧	渡 邊 大 雅
21	3	谷 津 彤 雲	高 久 香 扇	江 尻 苔 逕
22	4	金 賀 香 楓	谷 津 彤 雲	高 久 香 扇
23	5	齋 藤 柳 史	永 山 閑 遠	金 賀 香 楓
24	6	齋 藤 王 寧	江 尻 苔 逕	細 井 研 堂
25	7	馬 目 香 楊	細 井 清 子	谷 津 彤 雲
26	8	永 山 閑 遠	齋 藤 柳 史	高 野 晶 楊
27	9	高 久 香 扇	細 井 研 堂	馬 目 香 楊
28	10	細 井 研 堂	江 尻 苔 逕	及 川 峰 紘
29	11	馬 目 香 楊	河 辺 素 月	金 賀 香 楓
30	12	木 田 湛 周	齋 藤 王 寧	猪 狩 桂 舟
31	13	木 田 湛 周	猪 狩 桂 舟	細 井 清 子
32	14	鈴 木 我 峻	大 平 峰 生	永 山 閑 遠
33	15	鈴 木 我 峻	細 井 清 子	殿 塚 聖 安
34	16	谷 津 淑 夫	殿 塚 聖 安	細 井 清 子
35	17	鈴 木 花 泉	宮 崎 雪 虹	小 松 遊 苑
36	18	大 河 原 一 醉	小 松 遊 苑	鈴 木 花 泉
37	19	物 江 虹 唐	金 成 晁 泉	小 松 遊 苑
38	20	宮 崎 雪 虹	伊 藤 松 茄	坂 本 一 道
39	21	宮 崎 雪 虹	大 平 峰 生	小 松 遊 苑
40	22	物 江 虹 唐	井 戸 川 保 子	高 野 晶 楊
41	23	金 成 晁 泉	江 川 文 子	新 妻 淡 遠
42	24	新 妻 淡 遠	江 川 文 子	本 田 葉 月
43	25	菜 花 琴 雪	新 妻 淡 遠	臺 麗 子
44	26	村 越 紫 苑	阿 部 嶋 泉	山 川 榮 雪
45	27	井 戸 川 保 子	春 日 賢 治	吉 村 翠 苑
46	28	樋 田 静 流	伊 藤 松 茄	井 戸 川 保 子
47	29	樋 田 静 流	阿 部 嶋 泉	臺 麗 子
48	30	佐 藤 景 苑	臺 麗 子	片 寄 光 月
49	31	馬 上 溪 花	丹 野 清 波	藤 田 桂 雪
50	令和2	馬 上 溪 花	吉 村 翠 苑	金 成 大 雅

註 書の部は第5回市美展から開催

書の部入賞者

賞名	題名	氏名	住所
いわき市長賞	臨蘇東坡詩	村越紫苑	平
いわき市議会議長賞	杜甫詩	金成大雅	中央台
いわき市教育委員会教育長賞	四字詢	齊藤福庵	郷ヶ丘

《佳作》

いわき市文化協会会長賞	堀口大学の詩	阿部嶋泉	平下平窪
福島県報徳社賞	杜甫詩	吉村翠苑	平
美術館友の会賞	春	渡辺梨花	石塚町
遠藤一心堂賞	高啓詩	上神谷玉瑛	勿来町
〃	臨居延漢簡	伊藤松茄	平赤井
キヨ一和賞	七言律詩	片寄光月	平
株式会社風雅プランニング賞	和気	藤田桂雪	四倉町
〃	望湖樓	馬上奈巳	小名浜
ガスワン賞(常磐共同ガス株式会社)	閑中酒静裏泉	河治奇雲	山玉町
ひまわり信用金庫賞	李青蓮句	大平峰生	佐糠町

《特別賞》

青少年賞(遠藤一心堂賞)	臨集字聖教序	馬上華舟	植田町
--------------	--------	------	-----

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞および佳作等は審査員が選考します。
 ※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とします。

書の部

No.	賞	題名	氏名	住所
1		和 静	吉 田 翠 雪	中央台
2		う ち な ら す	小 林 き み 子	平沼ノ内
3	佳 作	杜 甫 詩	吉 村 翠 苑	平
4		京 口	古 和 口 瑛 香	中岡町
5		お し な べ て	小 野 香 華	常磐下船尾町
6		游 雲	本 間 敦 子	錦町
7		啼 鳥 雲 山 静	伊 藤 秋 櫻	常磐湯本町
8		枕 草 子 よ り	猪 狩 晴 美	四倉町
9		権 中 納 言 定 家 の 歌	上 遠 野 智 深	泉町滝尻
10		文 天 祥 詩	木 田 涼 祥	中央台
11		汪 洪 度 詩	佐 藤 祥 扇	佐糠町
12	佳 作	春	渡 辺 梨 花	石塚町
13		飛 觴	矢 田 香 琳	小名浜大原
14		天 平 山	賀 澤 志 音	小名浜
15		七 言 律 詩	高 木 紫 萌	小名浜住吉
16		五 言 絶 句	西 牧 翠 心	平
17		七 言 二 句	片 寄 緋 雪	平四ツ波
18		米 芾 詩 一 節	比 佐 恒 翠	小名浜
19	佳 作	和 氣	藤 田 桂 雪	四倉町
20	佳 作	高 啓 詩	上 神 谷 玉 瑛	勿来町
21		劉 禹 錫 詩	鈴 木 典 祥	平中山
22		孟 浩 然 詩	折 笠 令 舟	金山町
23		禹 廟	宗 像 希 竜	平
24		玉 階 怨	白 坂 香 月	平
25		七 言 絶 句	安 島 萩 逕	小名浜
26		臨 傳 山	鈴 木 多 佳	平上荒川
27	佳 作	堀 口 大 学 の 詩	阿 部 嶋 泉	平下平窪
28		清 風 動 脩 竹	遠 藤 裕 鶴	中央台
29		鳳 凰 の 夕 映 え	高 萩 久 扇	小名浜住吉
30		野 泊	鈴 木 芳 春	小川町高萩
31		し ぐ れ そ ら …	塩 田 雪 蓉	小名浜
32		さ つ き 野 の	山 田 蔦 紅	勿来町
33	佳 作	閑 中 酒 静 裏 泉	河 治 奇 雲	山玉町
34		絶 好 繁 二 月 天	新 妻 心 葉	郷ヶ丘
35		蘭 亭 詩	高 萩 祥 陽	泉町

No.	賞	題名	氏名	住所
36		松影濤聲	田村萬里	中央台
37	佳作	臨居延漢簡	伊藤松茄	平赤井
38		秋風	丹野清波	小名浜岡小名
39		思ふことなくて	遠藤美幸	小名浜玉川町
40		臨造象記	薄葉志千	平上平窪
41		春樹籠煙暖	国分廣道	鹿島町久保
42		峰走	菽生田祥苑	常磐関船町
43		遊洞庭	小室玉映	平中平窪
44	佳作	李青蓮句	大平峰生	佐糠町
45		吳蘭雪詩	渡部紫葉	勿来町
46		丘爲詩	佐藤一扇	草木台
47		李白春夜宴桃李園序	猪狩清森	内郷綴町
48	佳作	七言律詩	片寄光月	平
49		紅に色をハ可へて	斉藤寿峰	小名浜住吉
50		四字句	佐藤江鶴	常磐藤原町
51	佳作	望湖樓	馬上奈巳	小名浜
52		曹植詩	田中京華	小名浜
53		胡居仁句	谷津田敬心	鹿島町走熊
54	招待	富士須	臺麗子	遠野町滝
55	招待	虎言二	田辺碩声	常磐上矢田町
56	招待	七言二	矢内齊	四倉町上仁井田
57	遺作	王維詩	川島大佳	
58	招待	保壽	石川大湲	平上片寄
59	招待	臨撫石鼓琅	金成晁泉	中央台
60	招待	杜甫詩	松崎秋香	明治団地
61	招待	陶淵明詩	滝翠嶺	常磐藤原町
62	招待	柳鷺	高久香扇	永崎
63	招待	富士山詩	芳賀二葉	勿来町
64	招待	春霞	井戸川保子	郷ヶ丘
65	招待	「八衰」の一節	荒井東苑	平
66	審査員	四字句	宮崎雪虹	鹿島町上蔵持
67	審査員	鳴雪の句	草野蘆舟	泉町
68	審査員	寧愁清謚	馬目香楊	小名浜大原
69	招待	郷愁清遠	田久芳涯	中央台
70	招待	老子語	酒井泰舟	常磐関船町
71	招待	平常心是道	鈴木花泉	鹿島町米田
72	招待	酒池肉林(史記殷本紀)	馬上溪花	平中山
73	招待	崔激詩	谷津彤雲	内郷宮町

No	賞	題 名	氏 名	住 所
74	招 待	献 身	木 田 湛 周	好間町中好間
75	議 長 賞	杜 甫 身 詩	金 成 大 雅	中央台
76	市 長 賞	臨 蘇 東 坡 詩	村 越 紫 苑	平
77	教 育 長 賞	四 字 詢	齊 藤 福 庵	郷ヶ丘
78	招 待	初 恋 (島 崎 藤 村 詩)	物 江 虹 唐	桜ヶ丘
79	招 待	臨 令 鼎	樋 田 静 流	錦町
80		蘇 舜 欽 詩	小 野 泰 山	小名浜
81		謙 己	篠 崎 紫 月	泉ヶ丘
82		ほ の ほ の と	古 市 澄 子	泉ヶ丘
83		み よ し の ハ	村 上 春 香	常磐関船町
84		杜 甫 詩	櫛 田 華 堂	勿来町
85		呉 昌 碩 詩	折 笠 秀 華	金山町
86		范 成 大 詩	櫛 田 啓	中央台
87		杜 甫 詩	山 川 榮 雪	平
88		李 賀 詩	小 野 恵 風	平中山
89		高 啓 詩	鈴 木 小 琴	植田町
90		李 賀 詩	山 口 瑞 花	常磐上湯長谷町
91		臨 興 福 寺 断 碑	田 中 昌 宏	小名浜下神白
92		春 流 高 以 岸	根 内 千 寿	好間町下好間
93		斯 道 峻	遠 藤 由 風	鹿島町久保
94		臨 王 鐸	井 上 桃 華	平下荒川
95		鮭 の 川	吉 田 泉	平
96		李 白 詩 句	鈴 木 琉 奈	平成
97		親 孝 行 の 句	渡 部 愛 加	平北白土
98		臨 曹 全 碑	梶 田 和 悠	泉玉露
99	青 少 年 賞	臨 集 字 聖 教 序 句	馬 上 華 舟	植田町
100		五 言 絶 句	丹 野 未 涼	小名浜